

「名人」推薦要領

1 目的

日本列島の風土と文化を基盤とし、森・川・海などの自然からの恵みによって衣食住をまかなう営為（以下「仕事」という。）に従事する人のうち、先人の知恵や技（わざ）を受け継ぎ、同業者あるいは地域社会において模範となっている方を「聞き書き甲子園」では「名人」と称しています。

「聞き書き甲子園」では、全国の高校生が、地域の複数の「名人」を訪問し、一対一の対話によって、その知恵や技（わざ）、心、さらには人生そのものを「聞き書き」し、記録、発信します。

社会一般に「自然と向き合う仕事の大切さ」や「地域ごとに特色ある生活文化の豊かさ」をひろめ、あわせて、持続可能な未来を担う次世代を育成することを目的とします。

2 推薦の要件

(1) 「名人」は、次の全ての要件を概ね満たす方の中から推薦してください。

- ①年齢は、概ね60歳以上であること
- ②森・川・海などの自然とかかわる仕事に従事する経験年数が20年以上であること
- ③森・川・海などの自然とかかわる仕事において、先人からの知恵や技（わざ）を有すること
- ④自然との関わり、身の処し方、地域社会との関わり等を通じて、同業者あるいは地域社会において模範とされていること
- ⑤高校生の「聞き書き」取材に協力できること

(2) 「名人」は、以下の職種の方を想定しています。

①森にかかわる仕事

造林手、炭焼き職人、猟師、山菜採り、きのこ採り、原木しいたけ栽培、漆かき職人、わざび栽培、薬草採取、養蜂、鷹匠 等

②海や川にかかわる仕事

漁師、海女、川漁師、海草採取、海苔養殖、牡蠣養殖、船大工、漁具づくり 等

③地域の自然資本や生態系サービスに則った伝統的な生活文化の継承にかかわる仕事

宮大工、茅葺き職人、桶・樽づくり、指物師、木地師、曲げ物師、塗師、紙漉き、竹細工がま細工、しな織り、草木染め、こけし作り、面打ち師、野鍛冶、伝統農法（焼畑、伝統野菜の栽培等）、伝統的な製法による発酵食品の加工（味噌・酒づくり）や保存食づくり 等

3 推薦から公表までの手続き

(1) 推薦書の作成

2に掲げる要件に該当し、「名人」としてふさわしいと思われる方について、別添の推薦書を作成し、令和2年1月末までに事務局に提出してください。

(2) 推薦人数 6～8名程度

※協力市町村の公募申請書にもとづき、推薦いただく人数を相談、調整させていただきます。

(3) 実行委員会における決定

提出された推薦書に基づき、高校生の「聞き書き」取材にご協力いただく「名人」は、年度内に実行委員会にて決定いたします。

(4) 「名人」の取材同意書の提出

取材にご協力いただくことが決定した「名人」には、後日、高校生の取材受け入れの同意書を提出いただきます。

4 公表

翌年春の「聞き書き甲子園」の高校生募集告知とあわせて、「聞き書き」を実施する市町村ならびに「名人」の決定は、広くマスコミにPRします。

5 「名人」の活動

(1) 「聞き書き甲子園」の参加高校生は、夏の研修会を経て、「名人」を取材します。

(2) 「名人」と高校生の組み合わせは、令和2年8月中旬までに事務局が調整し、市町村ならびに「名人」に連絡します。

(3) 高校生の「聞き書き」取材への協力をお願いいたします。

「聞き書き」取材は、令和2年8月下旬より12月までの期間で、2回程度、実施する予定です。「名人」には、実行委員会より謝金をお支払いします。

(4) 高校生の「聞き書き」作品は、冊子にまとめ、市町村ならびに「名人」へ贈呈します。

(5) 優秀作品に選ばれた高校生と「名人」は、成果発表会（令和3年3月中旬に都内で開催予定）への招待を予定しています。

《問い合わせ先》

「聞き書き甲子園」実行委員会事務局（NPO法人共存の森ネットワーク内）

東京都世田谷区松原1-11-26-301（担当 吉野・大谷）

電話 03-6432-6580 FAX 03-6432-6590

contact@kikigaki.net（すべて半角英小文字）